

賛助会員

- 北海道栽培漁業振興公社 (060-0003 北海道札幌市中央区北3条西7丁目北海道第二水産ビル4階)
 阿寒観光汽船 株式会社 (085-0463 北海道阿寒郡阿寒町字阿寒湖畔)
 全国海苔貝類漁業協同組合連合会 (108-0074 東京都港区高輪 2 - 16 - 5)
 有限会社 浜野顕微鏡 (113-0033 東京都文京区本郷 5 - 25 - 18)
 株式会社 ヤクルト本社研究所 (186-8650 東京都国立市谷保 1769)
 神協産業 株式会社 (742-1502 山口県熊毛郡田布施町波野 962 - 1)
 理研食品 株式会社 (985-8540 宮城県多賀城市宮内 2 - 5 - 60)
 三洋テクノマリン 株式会社 (103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1 - 3 - 17)
 マイクロアルジェコーポレーション (MAC) (104-0061 東京都中央区銀座 2 - 6 - 5)
 (株) ハクジュ・ライフサイエンス (173-0014 東京都板橋区大山東町 32 - 17)
 (有) 祐千堂葛西 (038-3662 青森県北津軽郡板柳町大字板柳字土井 38 - 10)
 株式会社 ナボカルコスメティックス (151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5 - 29 - 7)
 日本製薬 株式会社ライフテック部 (598-8558 大阪府泉佐野市住吉町 26)
 共和コンクリート工業株式会社 (060-0061 北海道札幌市中央区南1条西1丁目8有楽ビル)

海産微細藻類用培地

<特徴>

- ◎ 多様な、微細藻類に使用できる。
- ◎ 手軽に使用できるので、時間と、労力の節約。
- ◎ 安定した性能。
- ◎ 高い増殖性能。

海産微細藻類用 ダイ IMK培地

- ・ 100L用×10 コード：398-01333
- ・ 1000L用×1 コード：392-01331

海産微細藻類用 IMK培地添加人工海水 ダイ IMK-SP培地

- ・ 1L用×10 コード：399-01341

海産微細藻類培養 ダイ人工海水SP

- ・ 1L用×10 コード：395-01343

「多くの微細藻類に共通して使える培地が市販されていない。」
 という声にお答えして、「株式会社 海洋バイオテクノロジー研究所」
 により、研究開発された培地です。

又、人工海水は海水 SP の成分が自然に近い形で混合されており、
 精製水に溶かすだけで海水として手軽に使用できます。

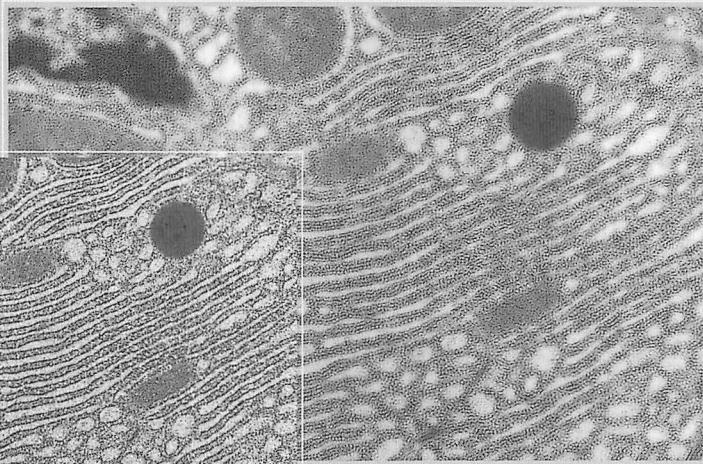
※人工海水 SP は千寿製薬株式会社の技術提携商品です。

製造  日本製薬株式会社 ライフテック部
 大阪府泉佐野市住吉町 26 番
 〒598-0061 TEL 0724-69-4622
 東京都千代田区東神田一丁目 9 番 8 号
 〒101-0031 TEL 03-3869-9236

販売  和光純薬工業株式会社
 大阪市中央区道修町三丁目 1 番 2 号
 〒541-0045 TEL 06-6203-3741
 東京都中央区日本橋四丁目 5 番 13 号
 〒103-0023 TEL 03-3270-8571

HITACHI

オートフォーカスOFF



オートフォーカスON



すっきり画像をすべてのユーザーに—— 高速オートフォーカス

特長

- 1 高速オートフォーカス機能を搭載し、0.9秒で焦点合わせが可能
- 2 TVカメラを標準装備し、明るい部屋で試料の視野探し撮影が可能
- 3 PC制御、GUI採用により、容易な操作
- 4 ネットワーク対応でリモート操作が可能 (オプション)

仕様

分解能：0.204nm(格子像)、0.36nm(粒子像)

試料ステージ：高精度ハイパスステージ

加速電圧：40~120kV

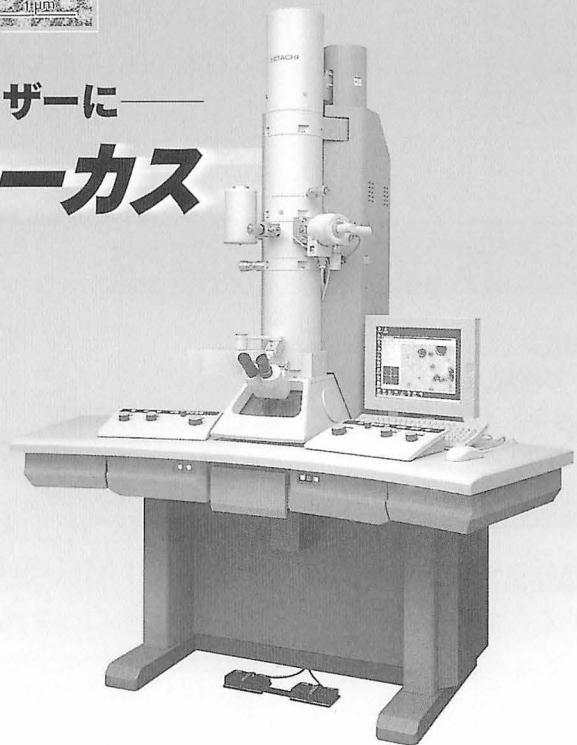
倍率：Low Magモード×50~×1,000
Zoomモード×700~600,000

株式会社 日立ハイテクノロジーズ

本社 〒105-8717 東京都港区西新橋一丁目24番14号
電話ダイヤルイン(03)3504-7211

事業所	北海道(札幌)	(011)221-7241	関西(大阪)	(06)4807-2551
	東北(仙台)	(022)264-2211	京都(京都)	(075)241-1591
	筑波(土浦)	(0298)25-4811	四国(高松)	(0878)62-3391
	横浜(横浜)	(045)451-5151	中国(広島)	(082)221-4514
	中部(名古屋)	(052)583-5851	九州(福岡)	(092)721-3501
	北陸(金沢)	(0762)63-3480		

インターネットホームページ <http://www.hitachi-hitec.com/science/>



日立電子顕微鏡

H-7600

世界の淡水産紅藻

熊野 茂 著

B5判・上製416頁・本体価格28000円

清澄な水域に生息している淡水産紅藻は、環境汚染に極めて敏感であるため、地球的規模での水の汚染の危険を人類に知らせる有効な指標としての役割を担っている。しかし水質の汚染に伴い残念ながら淡水産紅藻種のいくつかの種は既に絶滅し、また多くの種の絶滅が危惧されている。本書は淡水産紅藻という分類群の現時点での研究成果をまとめたものであり、世界で認められている淡水産紅藻の大部分の分類群を、種、変種のランクまで収録する。

淡水藻類入門

淡水藻類の形質・
種類・観察と研究

山岸 高旺 編著

B5判・700頁（口絵カラー含む）・本体価格25000円

「日本淡水藻図鑑」の編者である著者がまとめる、初心者・入門者のための書。多種多様な藻類群を、平易な言葉で誰にも分かるよう、丁寧に解説する。I編、II編で形質と分類の概説を行い、III編では各分野の専門家による具体的事例20編をあげ、実際にどのように観察・研究を進めたらよいかを理解できるように構成する。

淡水藻類写真集

1巻

山岸 高旺・秋山 優 編集

～20巻

各巻 B5判・216頁・100シート

1・2巻4000円、3～10巻5000円、11～20巻7000円

淡水藻類写真集ガイドブック

山岸 高旺 著

B5判・144頁・本体価格3800円

新日本海藻誌

— 日本産海藻類総覧 —

吉田 忠生 著

B5判・総頁1248頁・本体価格46000円

本書は古典的になった岡村金太郎の歴史的大著「日本海藻誌」(1936)を全面的に書き直したものである。「日本海藻誌」刊行以後の約60年間の研究の進歩を要約し、1997年までの知見を盛り込んで、日本産として報告のある海藻（緑藻、褐藻、紅藻）約1400種について、形態的な特徴を現代の言葉で記載する。植物学・水産学の専門家のみならず、広く関係各方面に必携の書。

近刊予告

小林珪藻図鑑

小林 弘

南雲 保・出井雅彦・真山茂樹・長田敬五 著

藻類の生活史集成

堀 輝三 編

第1巻 緑色藻類 B5・448p (185種) 8000円

第2巻 褐藻・紅藻類 B5・424p (171種) 8000円

第3巻 単細胞性・鞭毛藻類 B5・400p (146種) 7000円

陸上植物の起源

渡邊 信 共訳
堀 輝三

— 緑藻から緑色植物へ —

A5・376p・4800円

最初に海で生まれた現生植物の祖先は、どのような進化をたどって陸上に進出したのか——。分子生物学、生化学、発生学、形態学などの成果にもとづく探求の書。

日本淡水藻図鑑

廣瀬弘幸・山岸高旺 編集

B5・960p・38000円

図鑑としての特性を最大化に発揮す為には図版は必ず左頁に、図版の説明は必ず右頁に組まれ、常に図と説明とが同時にみられるように工夫。また随所に総括的な解説や検索表を配し読者の便宜を図る。

藻類多様性の生物学

千原光雄 編著

B5・400p・9000円

藻類の今を見渡し、理解するための最適の書。斯界の第一人者により、藻学および周辺領域の膨大な知識の蓄積が整理され、新しい研究成果も取り入れられている。藻学を学ぶ方、またこの分野に興味のある方の新たなスタンダード。

日本の赤潮生物

福代・高野 共編
千原・松岡

— 写真と解説 —

B5・430p・13000円

日本近海および日本の淡水域に出現する200種の赤潮生物を収録。赤潮生物の分類・同定に有効な一冊。

原生生物の世界

丸山 晃 著
丸山雪江 絵

細菌、藻類、菌類と原生動物の分類

B5・440p・28000円

原生生物、すなわち細菌、藻類、菌類と原生動物の分類という壮大な世界を緻密な点描画とともに一巻に収めた類例のない書。

学 会 出 版 物

下記の出版物をご希望の方に頒布いたしますので、学会事務局までお申し込み下さい。(価格は送料を含む)

1. 「藻類」バックナンバー 価格、各号、会員1,750円、非会員3,000円；30巻4号(創立30周年記念増大号、1-30巻索引付き)のみ会員5,000円、非会員7,000円；欠号1-2巻、4巻1、3号、5巻1、2号、6-9巻全号。「藻類」バックナンバーの特別セット販売に関しては本誌記事をご覧ください。
2. 「藻類」索引 1-10巻、価格、会員1,500円、非会員2,000円；「藻類」索引11-20巻、価格、会員2,000円、非会員3,000円、創立30周年記念「藻類」索引1-30巻、価格、会員3,000円、非会員4,000円。
3. 山田幸男先生追悼号 藻類25巻増補、1977、A5版、xxviii + 418頁。山田先生の遺影、経歴・業績一覧・追悼及び内外の藻類学者より寄稿された論文50編(英文26、和文24)を掲載。価格7,000円。
4. 日米科学セミナー記録 Contributions to the systematics of the benthic marine algae of the North Pacific. I.A.Abbot・黒木宗尚共編、1972、B5版、xiv + 280頁、6図版。昭和46年8月に札幌で行われた北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で、20編の研究報告(英文)を掲載。価格4,000円。
5. 北海道周辺のコンブ類のと最近の増養殖学的研究 1977、B5版、65頁。昭和49年9月に札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4論文と討論の要旨。価格1,000円。

2003年7月5日印刷

2003年7月10日発行

© 2003 Japanese Society of Phycology

日 本 藻 類 学 会

編集兼発行者

前川行幸

〒514-8507 三重県津市上浜町1515

三重大学生物資源学部

Tel 059-231-9529

Fax 059-231-9523

禁 転 載
不 許 複 製

印 刷 所

株式会社東プリ

〒144-0052 大田区蒲田4-41-11

Tel 03-3732-4155

Fax 03-3730-8286

Printed by TOPRI

発行所

日本藻類学会

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

山形大学理学部生物学科

Tel 023-628-4610

Fax 023-628-4510

藻類

The Japanese Journal of Phycology (Sôruï)

第51巻 第2号 2003年7月10日

目次

阿部信一郎・井口恵一朗・松原尚人・淀 太我・田中次郎・南雲 保：三重県銚子川河口域の 付着藻類植生およびそこに生息するアユ <i>Plecoglossus altivelis altivelis</i> の 消化管内容物における藻類組成	117
内村真之・新井章吾・吉川浩二・吉田吾郎・寺脇利信：広島湾の岩礁性藻場をつくる海藻の現存量と その季節変化	123
藻場の景観模式図 寺脇利信・新井章吾：13. 土佐湾横浪半島・白の鼻地先	131
藻類学最前線 吉川伸哉：藻類の青色光受容体について	135
日本藻類学会第27回大会開催記・参加記 前川行幸：日本藻類学会第27回大会を終えて 高津 翼：公開シンポジウム「アマモ場の生態と回復」参加記 大田修平：エクスカージョン参加記	138 139 140
学会・シンポジウム情報 2003 秋季藻類シンポジウム 藻類談話会 自然史学会連合ニュース	142
英文誌 <i>Phycological Research</i> 50 (4), 51 (1) 掲載論文和文要旨	145
学会録事	150